

働き方改革及び工事円滑化に向けた取組み

～2024.4建設業時間外労働の上限規制への対応～

2024年 3月



1. 取組みの目的

1. 目的・経緯

発注者として、業界団体との意見交換会等を踏まえ、これまでも工事管理の効率化や書類の簡素化に取り組んできたところである。

さらに、2024年4月から建設業に時間外労働の上限規制が適用されるため、**長時間労働の是正が急務である業界からの要望**を踏まえて、発注者として受注者の負担軽減に対する取組みを進めていく。

2. 課題

[最優先課題]

課題①：設計変更や対外協議のための資料作成の削減
関係業団体のアンケート調査等によれば、**発注者による過剰な工事関係書類の要求が、時間外労働の増加に繋がっている、とする指摘がある。**

課題②：品質管理、出来形管理の効率化
直轄事業に比べて高速道路会社の工事では、**高い品質を確保するための様々な品質管理、出来形管理や、それに伴う多くの書類提出が求められる、との意見がある。**

NEXCO西日本 代表取締役
芝村副社長執行役員

(一社)日本建設業連合会
風間公共工事委員長



(一社)日建連と当社役員を交えた意見交換会
(2024.2.14 西日本本社会議室)

2. 推進会議による検討状況



■ 「働き方改革及び工事円滑化に向けた推進会議」を設置

NEXCO3社 35名(技術本部・保全及び建設事業本部 各部の部長・課長級), 日建連15名(高速道路部会, 土木部長級)

第1回 . . . 2023年 7月26日 日建連アンケート確認、検討課題抽出

現地ヒアリング 2023年 8月 3日～9月6日 NEXCO各社の本社各部課長・代理級が現地へ出向き、
工事受注者、NEXCO社員、施工管理会社 の各々にヒアリング(対面)

[NEXCO3社 計69工事：西日本：22工事] ※別途、施設14工事もNEXCO西日本のみ独自に実施

第2回 . . . 2023年 9月12日 現地アンケート結果、NEXCO3社施策(案)確認

第3回 . . . 2023年 10月10日 日建連改善要望、NEXCO3社施策(案)確認

第4回 . . . 2023年 10月20日 中間とりまとめ (内容は他の業界団体へも共有)

第5回 . . . 2023年 11月22日 懸案協議、NEXCO3社施策(案)確認

第6回 . . . 2024年 1月25日 最終とりまとめ(案)、次年度取組み施策(案)協議

2024年 2月14日 日建連本部と当社役員を交えた意見交換会

第7回 . . . 2024年 3月18日 最終とりまとめ (内容は他の業界団体へも共有)

2024年 3月21日 NEXCO3社、日建連HPで公表(行動宣言ポスター、工事管理に関するガイド)

2024年4月 取組みの運用開始

2024年7月 要領等改定

2024年度においても、業界団体と連携し、効率化、省力化に資する検討を継続実施

3. 取組みの概要

(1) 適正な工期の設定

- ① 週休2日工事の完全実施
 - ・既契約の未対応工事を週休2日指定工事へ移行
 - ・雨天日、猛暑日を考慮した工期設定
- ② 書類作成工期の付与と費用負担
- ③ 適正な工期算出のための歩掛の設定、必要な経費等の計上

青字は2023年度導入した施策
※2024年4月以降

(2) 書類作成の軽減

- ① 設計変更時及び対外協議の作成資料の軽減
 - ・過剰な作成資料の状況把握、事例のとりまとめ
 - ・意思決定を迅速化し過剰な資料作成指示を抑制させる仕組みの導入
 - ・変更指示、対外協議における協議資料の簡素化及び役割分担の明確化
 - ・NEXCO社員および施工管理員への意識の徹底
- ② 工事書類の簡素化と受発注者間の認識合わせ
 - ・土木工事関係書類簡素化ガイドラインの改定
 - ・工事情報共有・保存システム(K-cube2)の機能改良
 - ・新たな利便性機能を付与した新システムの構築

(3) 施工管理の効率化・省力化

- ① 検査や立会手法の改善
 - ・遠隔臨場の適用拡大などIT活用による、検査立会時間の短縮
 - ・DXなど新技術活用の拡大による、書類作成時間の削減
 - コンクリート施工管理要領の改定による書類の削減
 - その他の施工管理要領の改定による書類の削減
- ② プレキャスト製品の更なる活用

(4) 設計図書の高品質化

- ① 精度の高い設計図書の作成
- ② 積算条件の明示等への配慮

4. 主な取組みの例 (1/4)

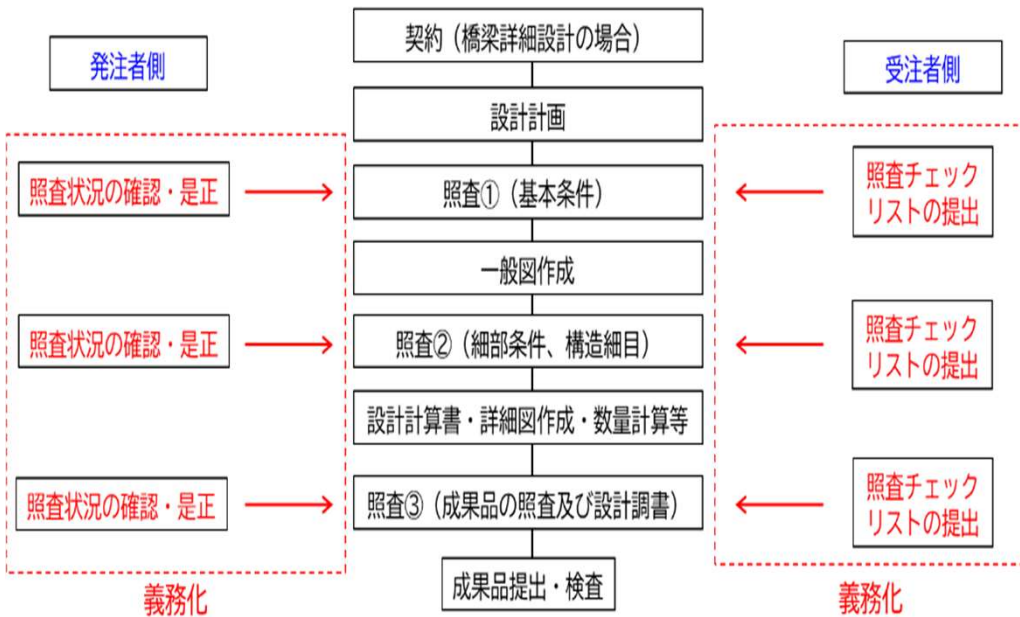
設計図書の品質向上



設計と現地の相違による手戻りや大幅な工法等の変更を極力避けるため、設計成果品の更なる精度向上に取り組む
□ 設計の段階的なチェック及び十分な確認期間の確保

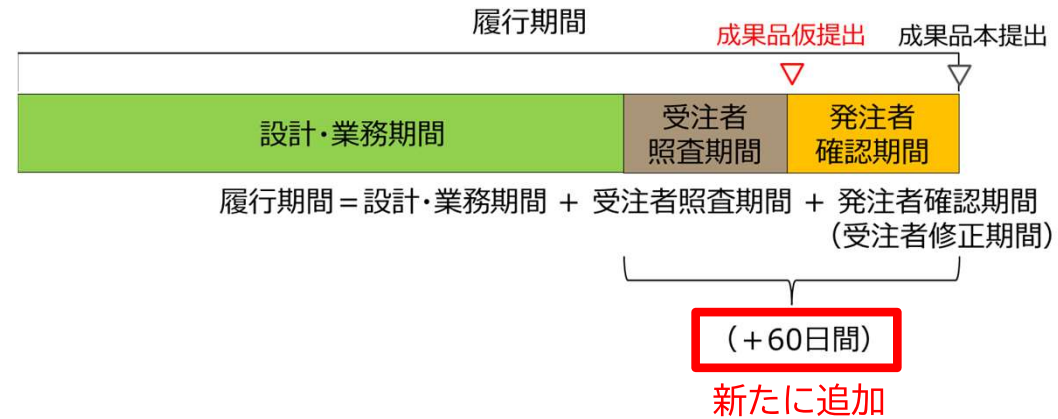
設計の段階的なチェック

- ▶ 基本条件、細部条件等、成果品の照査において、受発注者双方での**確認を強化**



設計成果品の十分な確認期間の確保

- ▶ 十分な**確認期間を確保**し、**設計照査**(受注者)と**照査結果の確認**(発注者)を実施

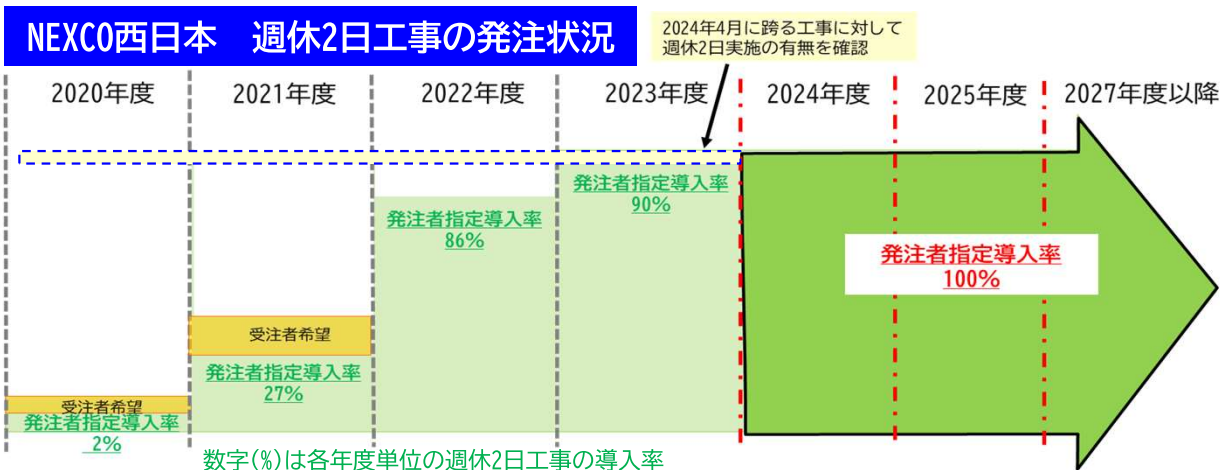


4. 主な取組みの例 (2/4)

適正な工期の設定



- 新規発注工事: 災害復旧を除く **全ての工事を週休2日発注者指定工事**とする
- 既契約工事: 週休2日 **未指定工事**の受注者への意向確認を踏まえ、週休2日 **指定工事へ変更する**
- 工事着手前の準備期間及び後片付け期間(書類作成を含む)の十分な確保



週休2日発注者指定工事の定義

▶工期の全体(通期)で週休2日(4週8休)に取り組むもの

更に、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日(土日)」を達成した工事には工事成績評定で加点する。
(R2024.7月以降の入札公告より適用予定)

準備期間と後片付け期間(書類作成を含む)の十分な確保

- 準備期間において、設計図書の照査期間を拡充するため、従前の準備期間に**30日加算**された最新の基準を適用すること。
- 書類作成等を含む後片付け期間は、現場作業と重複しないよう、後片付け期間として**60日間**を確保すること。(必要な現場経費を負担)
- 現場作業期間を延期する場合も、**工事目的物の完成時期とは別に、後片付け期間(60日間)**を確保すること。

従前の工期



今後の工期(新規契約)



「工期設定ガイドライン」 準備期間を見直し

工種	準備期間		工種	準備期間	
	改正前	改正後		改正前	改正後
一般土木工事	40日	70日	橋梁補修工事	60日	90日
トンネル工事	80日	110日	塗装工事	30日	60日
PC橋上部工工事	70日	100日	道路付属物工事	50日	80日
鋼橋上部工工事	90日	120日	土木補修工事	50日	80日
舗装工事(新設)	50日	80日	道路改良工事	40日	70日
舗装工事(修繕)	60日	90日			

4. 主な取組みの例 (3/4)

書類作成の軽減

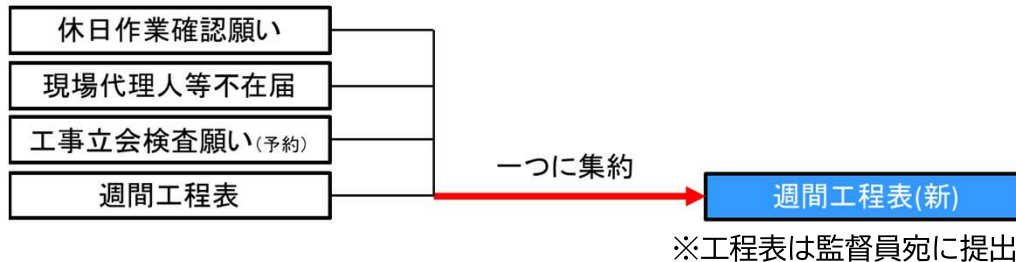
この書類必要?
それとも不要?



- 提出頻度の多い定型書類の集約化等
- 変更指示における迅速な意思決定ルールを導入

定型書類の集約化(週間工程表への集約)

- 土木工事関係書類提出マニュアルに基づき提出している週間工程表に必要事項を記載することで、現場代理人等不在届、休日作業願い及び工事立会検査願(立会予約)については個別に提出不要



工事の変更指示の迅速化

例1) 工事変更等検討会を導入(2023年11月～試行中)



例2) 説明資料について過剰な作成・添付は求めない
内部説明資料は極力簡素化、動画等の活用も可とする



工事の変更等の補助業務で発注者が実施する業務を明確化

発注者



- ボーリング等を必要とする地質調査
- 応力計算又は比較検討等を要する高度な設計
- 動態観測等特別な費用を要するもの
- その他設計変更ガイドラインに示すもの

4. 主な取組みの例 (4/4)

施工管理の効率化・省力化



□ コンクリート施工管理要領の改定

- ▶ 一定の品質基準を満たす配合であれば書類は自主保存

コンクリート施工管理の効率化・省力化

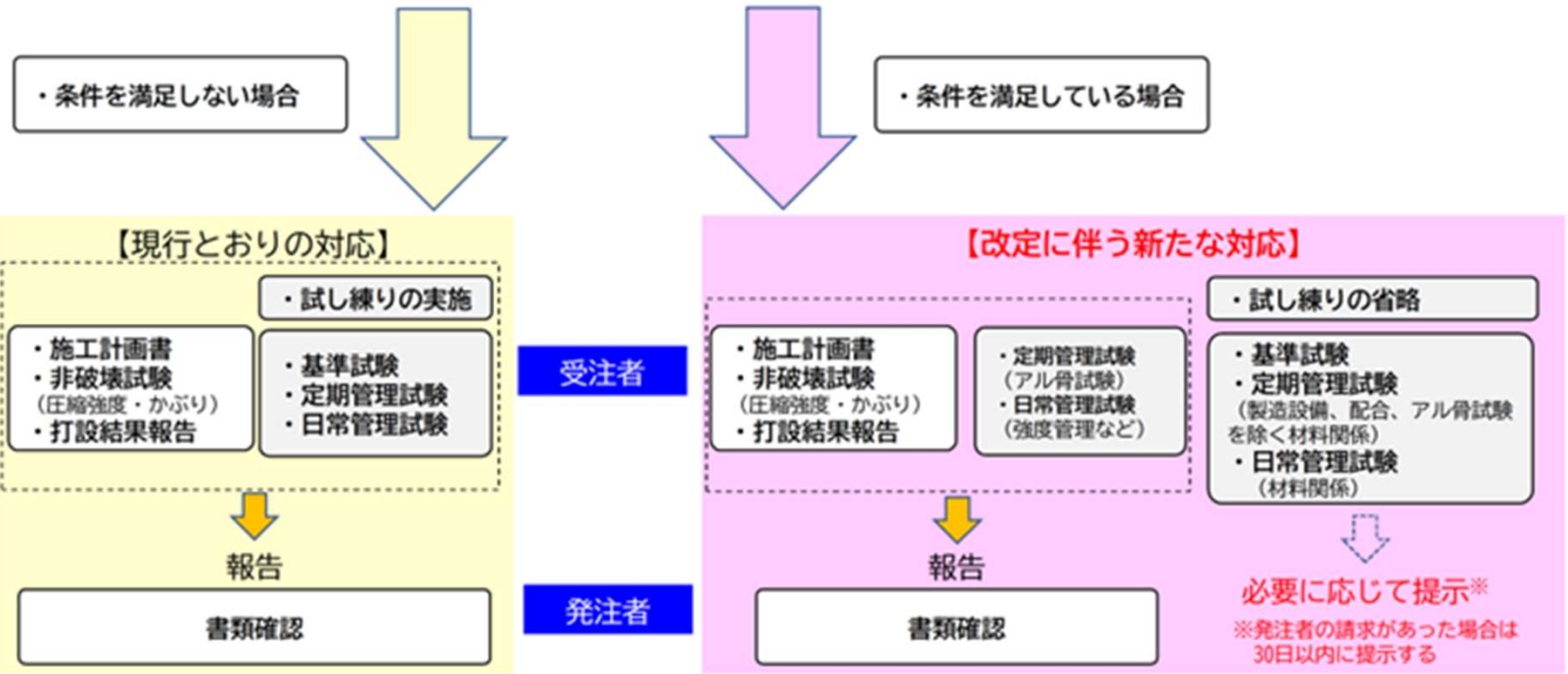
右の条件を満足するコンクリートは、

- 試し練りを省略
- 試験結果の提出書類（一部）を自主保存※

※発注者の請求があれば提示

(使用する材料の条件)

- ・ NEXCOが定める品質基準（最小セメント量、水セメント比、単位水量の上限）
- ・ JIS認証製品であること
- ・ ⑧工場であること



5. 更なる負担軽減策

○工事書類の簡素化と受発注者間の認識合わせ

新たな利便性機能を付与した新システムの構築

土木・施設工事で毎日使用するシステムを大幅に改良

2023年度に他システムとの連携の効果の検討を完了
2024年度より利便性向上を目指し、新システムを構築する



※1:K-Cube2とは、NEXCO3会社が発注する工事で使用しているシステムで、主に品質管理、施工管理等に必要な工事関係書類の提出・永年保存を目的とした「工事情報共有保存システム」をいう

※2:新工事管理システムは、NEXCO西日本の社内システムやK-Cube2と連携して調査等業務・工事の業務効率化を加速させる目的で「受発注者の書類確認」や「コミュニケーション」を支援する利便性向上機能に重点を置いた新たなシステムとして構築する

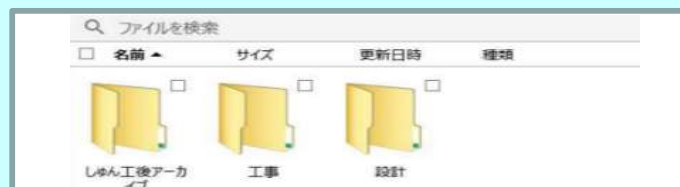
【新工事管理システム】

「利便性向上」を目的に新システムに構築する機能(予定)
▶ 設計検討し構築が完了したものを段階的に導入

(1)スケジュール共有機能 (設計検討中)
NEXCOのスケジュール(予定の有無)の閲覧機能

(2)掲示板機能 (設計検討中)
NEXCOの本・支社から、速やかな情報提供機能

(3)報告書等共有フォルダ **2024年度導入予定**
NEXCOと受注者とでファイルの受け渡しを簡素化



(4)書類スレッド機能 (設計検討中)
書類ごとにスレッド(会話)機能

(5)書類表示項目の見直し (設計検討中)
書類の配列を見やすく、検索しやすいよう設計

(6)利用者登録の簡素化 **2024年度導入予定**
受注者の工事担当者等の利用者登録を簡素化
(本・支店の社員等による書類作成(現場応援)が可能)



6. 取組み施策の確実な浸透と行動



○ 社員への確実な浸透と行動 「工事管理スリム化ガイド (4-you)」策定 と「行動宣言」



＜働き方改革及び工事円滑化 行動宣言＞： NEXCO3社共通

休：週休2日の推進等により休日確保します。

効：業務執行の効率化を進めます。

適：業務執行の適正化により生産性を高めます。

話：良好なコミュニケーション(対話)を確保します。



＜工事管理スリム化ガイドの目的＞： NEXCO西日本 のオリジナルガイドはこちらからどうぞ ▶

週休2日を原則とした適正な工期を確保した上で、工事書類の簡素化を強化します。

さらに、情報通信技術等(ICT、BIM/CIM、DX)を活用し、施工管理の効率化・省力化による生産性を向上します。

また、受発注者間で役割分担を明確化、良好なコミュニケーション(対話)を確保し迅速な意思決定に繋げるなど、業務の更なる適正化を行います。これらのための施策の確実な履行を促すため「工事管理スリム化ガイド(4-you)」を策定し社員等に周知します。



- ＜取組み浸透のための「スリム化ガイド」の活用＞
- ▶ 工事の円滑化に向けて取組む“4つの施策”のポイント(要点)を記載
 - ▶ 土木工事、施設工事の関連基準類へガイドし受発注者で確実に運用することで業務執行の適正化を図る
 - ▶ 受注者、施工管理会社、NEXCO社員に対する説明会に使用(認識共有)

7. 働き方改革の更なる推進を考慮した契約制度等の導入

○ 働き方改革を推進する者を評価

[土木・施設工事共通]

■ 工事発注時の総合評価項目における「働き方改革への取組み」を拡充します

(2024年7月以降公告の施工能力評価型、施工計画提案型(WT0未満)に導入)

○ 建設シニアの活用

若手技術者の育成、**次世代への知識・経験の継承**を目的として、**60歳以上の現場代理人を配置**する場合に、優位に評価します。

○ 現場業務の支援

現場作業の効率化と就労時間の短縮を図る効果的な取組みとして、**建設業への従事経験者又は育成講習を受講した経験者を一定期間配置**（現場又はテレワークで支援）する場合に優位に評価します。



○ 勤務間インターバル制度の導入

より良い労働環境の整備を目的として、**勤務間インターバル制度を現場へ導入**する場合に優位に評価します。

上記の評価における配点(標準例)

建設シニアの活用及び若手技術者の配置	60歳以上の現場代理人かつ45歳以下の監理(主任)技術者の配置	0.5
	60歳以上の現場代理人の配置	0.25
	上記以外	0.0
現場業務の支援	現場業務の支援者を配置する	0.5
	上記以外	0.0
勤務間インターバル制度の導入	9時間以上の勤務間インターバル制度を導入している	0.5
	上記以外	0.0

■ 施工管理業務の業務成績評価における評価項目を改定します(2024年4月改定)

○ 工事管理スリム化ガイド(4-y o u)の理解度

施工管理業務において**工事管理スリム化ガイドの活用を強力に推進**することを目的に、**理解度及び取組みがみられる場合に評定を優位に評価**します。

工事管理スリム化ガイドの活用推進



受注者 施工管理 NEXCO